

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	第32回 五島列島夕やけマラソン大会開催			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	五島市	地域振興部 スポーツ振興課	井関 健太	0959-74-0039
事業期間	開始年	平成30年 8月25日 (1年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[観光協会の直営]			
実施期間	(開始日) 30年 8月25日 (完了日) 30年 8月25日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
(委託内容)				
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	島外のマラソン愛好家。 市内の参加者および住民		・島外からの参加者による地域経済の活性化 ・五島特産品を用いた試食会による知名度アップ ・生涯スポーツとしてのランニング定着による住民の福祉の増進	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	○8月の最終土曜日の夕方にスタートする地域性を活かしたマラソン大会(ハーフの部・5km)として開催。 ○フィニッシュ会場において、大会を盛り上げる星空コンサートのほか、五島牛・五島美豚の販売促進を兼ねた試食会を実施。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	五島列島のサマーシーズンは好評であるが、極めて短期集中型であるため、来島期間の長期化を図ることを目的として大会を実施。			
(経緯・現状)				
第1回大会は80名程度の申込者数であったが、第25回からは3,000人を超える申込者数となる大会に成長している。また、ハーフの部および5kmの部において、クラスを細かく分けることで入賞するチャンスを増やすことで、参加意欲を高める工夫を行っている。				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		2,500,000	2,500,000	2,500,000				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債	2,500,000	2,500,000	1,250,000				
	その他							
	市町振興共同事業助成金			1,250,000				
一般財源								
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	マラソン参加申込者	参加申込者4,000人	人	目標	4,000	4,000	4,000
					実績	3,170	3,081	2,996
					目標達成率 (%)	79%	77%	75%
	②				目標			
					実績			
					目標達成率 (%)			

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 廃止した場合、来島者の減少による地域経済へのマイナス影響が発生する。 市民が生涯スポーツとしてのランニングに取り組む動機づけがなくなってしまう。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		全国的な地方のマラソン大会の参加者減少の影響を受けている。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある 実施予定 期 日 平成 32 年度以降	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はない		マラソン大会においては、2月に実施しているつばきマラソンが存在するが、フルマラソンの部を設けていること、また、夏の夕暮れ時を走る大会として大勢のランナーに認知されていることもあり統合は不可能であると思慮する。	
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		大会の事務局は五島市観光協会が担っていることから民間委託の必要性はない。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		現時点で収支は黒字であるため、受益者負担の見直しを図る必要はない。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■ 現状維持
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
具体的内容	五島市を代表するスポーツイベントであり、地域活性化や市民の生涯スポーツとしてのランニング定着に寄与していることから継続して実施していく。 大会事務局である五島市観光協会と協議を行い、参加者増加を図るための術を模索していく。				